

探究を生む歴史の授業（下）／目次

5章 近代日本のあゆみと4つの戦争

1 戊辰戦争と明治新政府

－新しい国はどうつくられたか－

2 文明開化と殖産興業

－生活と社会はどう変化？－

3 強国をめざして

－国のしくみをどう変える？－

4 開拓と地租改正

－富国強兵の基礎づくり－

5 学びたい国・従えたい国

－対外関係と国境の画定－

6 専制政治を変えろ

－反乱か民権運動か－

7 憲法・国会 はじめの一步

－国の主人公は誰か－

* 大観から深化へ・近代の日本と対外戦争

8 列強に追いつけ

－不平等条約をどう改正するか－

* 宮古島から学びあう「日露戦争」

－5人の男はなぜ荒海を渡ったか－

9 日清戦争と朝鮮・台湾

－東アジアを戦場に－

* 人頭税廃止をどう実現？

－沖縄・宮古島民の願いと明治の政党政治－

10 日英同盟から日露戦争へ

－主戦論対非戦論－

* 「主戦論対非戦論」から

どう学びを深めるか

- 11 ポーツマス条約と日本
－大陸へ勢力を拡大する－
- 12 併合と革命
－東アジアはどう変わるか－
- 13 「糸」と「鉄」とSL
－日本の産業革命はどう進むか－
- 14 「一等国」か「亡国」か
－社会問題の発生と労働者・農民－
- 15 国民文化の形成と教育の広がり
－今につながる明治－
- 16 世界戦争と総力戦
－列強が二つに分かれて－
- 17 ロシア革命とアメリカの台頭
－世界はどう変わるか－
- 18 戦争にどう対応するか
－第一次大戦と日本・中国－
- 19 独立を求めて
－高まるアジアの民族運動－
- 20 飲み物も食べ物も
－都市化と大衆的生活文化の広がり－
- * もう一つの「世界大戦」
－今「スペイン風邪」をどう教えるか－
- 21 女性運動・護憲運動と民本主義
－大正デモクラシーの始まり－
- 22 貧しき者よ立ち上がれ
－米騒動と社会運動の広がり－
- * 学校資料で学ぶ関東大震災
－伊東・熱海地域を例として－
- * 拓本で地域に探る「近現代」
－この人とこんな関係があったのか－
- * 声をあげる娘と学者－北と南から考える大正の文化

6章 中国侵略の拡大と帝国のゆくえ

- 23 世界へ広がる恐慌
 - 景気回復へのアメリカの道 —
- 24 独裁者の登場
 - 対立を深めるヨーロッパの国々 —
- 25 昭和日本の分かれ道
 - 干渉か協調か —
- 26 満州事変と国際社会
 - 軍部と政府はどの道を進むか —
- 27 激しい抵抗と果てしない戦線
 - 日中全面戦争へ —
- * プロ入り後から戦死までの澤村栄治のあゆみ
- 28 ぜいたくは敵だ
 - 戦争の長期化と人々の生活 —
- * 地域の兵士と日中戦争
 - 短歌集・従軍手帳をどう授業に生かすか —
- 29 第二次世界大戦の始まり
 - ヨーロッパに広がる戦火 —
- 30 アジア太平洋戦争はなぜ？
 - 日独伊三国軍事同盟と日本の南進 —
- 31 欲しがりません 勝つまでは
 - 「共栄圏」の実態と戦時生活 —
- 32 戦場になった沖縄と本土
 - 枢軸国の敗北とポツダム宣言 —
- * 地域に探る戦争
 - 教室から離陸してグループ調査 —
- * お寺に探る戦争
 - 戦没者墓碑をどう調べるか —
- * 遠足から考える時代の変化
 - 沿革誌をどう教材化するか —

7章 日本国の誕生と21世紀の課題

- 33 焼け跡の中から
 - －連合軍による占領と戦後の社会－
- 34 戦争よさらば
 - －日本国憲法の公布と諸改革－
- * 山を砕きて
 - －新制中学校はどうつくられたか－
- 35 国際連合と東西冷戦
 - －東アジアはどう変動するか－
- 36 火をふく38度線
 - －“逆コース”から朝鮮戦争へ－
- 37 日本の行く道は？
 - －独立の回復と原水爆禁止の願い－
- 38 アンポからオキナワへ
 - －日米中の新しい関わり－
- * 復帰の成果と課題とは？
 - －沖縄の側から考える－
- 39 聖火が照らす二つの「日本」
 - －沖縄からとらえる高度経済成長時代－
- 40 テレビとマイカー
 - －戦後の生活や文化の変化を探る－
- * 男たちはなぜ集まった？
 - －“ちょこっと高知史”を組み入れる－
- 41 自立へ向かう世界
 - －ベトナム戦争とアジア・ヨーロッパの変動－
- 42 トイレットペーパーが消えた
 - －石油危機・貿易摩擦を越えて－
- 43 米ソ冷戦の終わりと新しい課題
 - －テロや戦争はどこで多発するか－
- 44 バブル景気から平成不況へ
 - －社会や政治はどう変わるか－

45 グローバル化の中で
ー平和と共生をどう実現するかー

- * 歴史・替え歌暗記法をステージ発表
- * やってみよう生徒授業！ー安永修氏の実践から

おわりに
ー私は近現代史学習をどう「重視」するかー